

日立造船グループ※の事業基盤強化計画(抜粋)

※日立造船(株)、日立造船マリンエンジン(株)

企業概要

- 日立造船グループでは、1881年創業以来培った造船技術を基盤に、環境装置・プラント、機械装置、インフラ設備等の設計・製造等を手掛けている。
- 1940年より船用原動機事業を開始し、MAN Energy Solutions 社(ドイツ)とWinterthur Gas & Diesel 社(スイス)の国内唯一のダブルライセンスとして、国内外の造船会社向けに累計約4,285 万馬力、約2,975 台の豊富な製造実績をもつ。

計画の概要

- 2023年4月、日立造船株式会社が船用原動機事業を分社化して日立造船マリンエンジン株式会社を設立し、今治造船株式会社が35%の資本参加をする。
- 国内外での競争激化や鋼材等資源価格の変動といった厳しい事業環境の中、今治造船株式会社と連携し、資本参加や船用原動機の安定的な供給・調達を実現し、燃料転換(LNG、メタノール、アンモニア)に対応する技術開発・製造を推進する。
- 具体的には、有明工場の船用原動機の試運転設備および実験設備を増強し、日立造船が有する各種排ガス処理技術を組合せた製品開発を行い、環境性能の更なる向上を図る。

<計画実施期間> 2023年4月～2026年3月

<実施場所> 日立造船(株) 本社(大阪府大阪市)

日立造船マリンエンジン(株) 本社(熊本県玉名郡)

